

## 【修正等一覧表】

(2024.1.15 更新)

ページ	<内容>	<修正後> (令和6年1月 修正)	<修正前> (令和5年2月改定版)	<備考>
P9	<p>3 長井市立図書館</p> <p>⇒ 3 くるんと</p>	<p>3 くるんと</p> <p>「くるんと」は、屋内児童遊戯施設と図書館が一体となった施設です。長井市役所の隣に位置し、繭の形をした特徴的な建物で、中心市街地のシンボリック的存在。駅にも近く公共交通を使ってお気軽に来館いただけます。</p>	<p>白つつじ公園の敷地内に設置され、多くの市民に利用されています。一般書から児童書、視聴覚資料の貸出や館内での閲覧もできます。借りた本を公園で読む方も多くいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題名変更</li> <li>・ 内容修正</li> <li>・ 写真追加</li> </ul>
P10	<p>7 古代の丘資料館</p>	<p>市内で出土した考古資料を収集、調査研究、保存管理するとともに、それらを一般に公開しています。資料館では、資料の見学のほか、土器づくり体験などを楽しむことができます。</p>	<p>市内で出土した考古資料を収集、調査研究、保存管理するとともに、それらを一般に公開しています。資料館には、遺跡から発掘された土器や石器などが展示されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容修正</li> </ul>
P16	<p>1 もっちい</p>	<p>フラワー長井線写真</p>	<p>“三羽のうさぎ”伝説が残る熊野大社の最寄駅「宮内駅」にはもっちい駅長が勤務しています。宮内駅は・・・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容削除</li> <li>・ 写真追加</li> </ul>

P27	3 中里堤	西根草岡地内の古代の丘・・・周辺には、 古代の丘資料館や復元された竪穴住居・・・	西根草岡地内の古代の丘・・・周辺には、 遺跡の資料館や復元された竪穴住居・・・	・内容修正
P35	3 古代の丘	長井市草岡地区にある・・・ここには、縄文時代の雰囲気漂っています。 また、桜や紅葉などの四季折々の美しい風景を楽しめる場所でもあります。	長井市草岡地区にある・・・ここには、縄文時代の雰囲気漂っています。 自然溢れる場所で、マイナスイオンがいっぱいなので散策に最適です。	・内容修正
P42	1 伊佐沢の久保ザクラ	上伊佐沢地内にある・・・ 根元の部分が腐朽し樹勢が衰えたため、市や地域が一体となって、専門家の指導を受けながら、土壌の入れ替えや支柱の設置など、樹勢回復作業を実施してきました。近年では、新たな根の発生を促す不定根誘導に一定の成果がみられ、新しい枝が少しずつ伸びてきました。昭和25年・・・	上伊佐沢地内にある・・・ 根元の部分が腐朽し樹勢が衰えたため、主幹が南側と北側に大きく2つに分岐した姿になっています。市、地域が一体となって、専門家の指導を受けながら、土壌の入れ替えや支柱の設置など、樹勢回復の処置が計画的に行われています。昭和25年（旧法大正13年）に国の天然記念物に指定されています。・・・	・内容削除 ・内容修正
P42	2 草岡の大明神ザクラ	・・・ 地元では、古くから「種まき桜」として春の農作業の目安とされてきた桜です。以前は、施肥等を行っていましたが、現在は樹勢が安定しているため、強風による枝折れ対策としてのケーブルリングのみ実施しています。平成17年・・・	・・・ 地元では、古くから「種まき桜」として春の農作業の目安とされてきた桜です。古木のエドヒガンであるため、地域一丸となって施肥や消毒など、さまざまな樹勢回復のための処置が施されています。平成17年・・・	・内容修正

P44	1 「文化的景観」とは	<p>文化的景観とは・・・が折り重なって作られた景観のことを指しています。</p> <p>なかでも、地域の特色を示す代表的なものや他に例を見ない独特なものとして国が選定したものを「重要文化的景観」とし、令和5年3月現在、全国で72件が選定を受けています。</p>	<p>文化的景観とは・・・が折り重なって作られた景観のことを指しています。</p> <p>なかでも、地域の特色を示す代表的なものや他に例を見ない独特なものとして国が選定したものを「重要文化的景観」とし、令和元年10月現在、全国で65件が選定を受けています。</p>	・内容修正
P44	2 長井の文化的景観	<p>・選定基準（重要文化的景観の選定基準8項目のうち以下が該当）</p> <p>(5) ため池・水路・港などの水の利用に関する景観地</p> <p>(7) 道・広場などの流通・往来に関する景観地</p>		・選定基準追加
P45	5 町場の景観	図変更		・図変更
P46	7 文化的景観における重要な構成要素	一覧を追加		・新規追加
P47	ながいの歴史	<p>長井盆地は・・・。令和6年には、その市制施行から70周年を迎えており、益々の発展が期待されています</p>	<p>長井盆地は・・・平成26年には、その市制施行から70周年を迎えており、益々の発展が期待されています。</p>	・内容修正
P53	(3) 片倉壱岐守景観	<p>天正2年(1574)頃、伊達輝宗のときの史料『普段帳』に「壱岐守の軍勢は馬上72、</p>	<p>天正2年(1574)、伊達輝宗のときの史料に「壱岐守の軍勢は馬上72騎、鉄砲23丁な</p>	・内容修正

		鉄砲23、弓72、鎗250」とあり、置賜地方の伊達家家臣の中でもトップクラスの動員兵力を有していました。	ど総勢417名」とあり、新田殿633名に次ぐ出陣をしています。	
P55	1 近世の日本	慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いで・・・しかし、これによって米沢藩はますます困窮し、9代藩主治憲(鷹山)は大胆な藩政改革を行いました。	慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いで・・・しかし、これによって米沢藩はますます困窮し、上杉鷹山 <small>ようざん</small> の藩政改革が必要となるのです。	・内容修正
P57	4 上杉による統治	関ヶ原の戦いで・・・ここで、9代藩主上杉鷹山(治憲)はこの借金を返済するために・・・	関ヶ原の戦いで・・・ここで、上杉鷹山はこの借金を返済するために・・・	・内容修正
P72	9 松岡家住宅	旧松岡家住宅は、・・・大農家の様子を伝えています。前蔵は土蔵造平屋建て鉄板葺置屋根式の平入り、明治20年(1887)の建築です。後の蔵は土蔵二階建て鉄板葺置屋根式の平入り、明治32年(1899)の増築です。馬屋は木造二階建て鉄板葺(以前は茅葺)平入りで、昭和7年(1932)の建築です。作業小屋及び牛舎は木造平屋建て切妻造鉄板葺(以前は茅葺)妻入り、明治41年(1908)建築の作業小屋に、木造平屋建て切妻造鉄板葺妻入りの牛舎が増築されたものです。	旧松岡家住宅は、・・・大農家の様子を伝えています。土蔵造平屋建ての前蔵、木造二階建ての馬屋、木造平屋建ての2棟からなる作業小屋及び牛舎が、主屋を囲むように建っています。	・内容修正

P74	1 旧長井小学校第一校舎		大正3年(1914)の長井線開通時に・・・平成31年4月に交流と学びの拠点として整備され、リニューアルオープンしました。	・P70と重複していたため削除
P74	4 旧羽前銀行	4 旧羽前銀行	4 旧羽陽銀行	・題名修正
P76	5 嘉永堰・昭和堰	<p>置賜葉山山中に造られた嘉永堰は、嘉永年間の渇水対策として嘉永6年に開削されました。勸進代地区の田畑の主水源となる平沢川の水量を増やすために、山中の鍋割沢の水を平沢川に導入したものです。開削工事の経緯は「嘉永堰の日記」に詳細に記されており、当時の農業用水確保の地域住民の姿を捉える上でも貴重な史跡です。</p> <p>新たに開削した堰とそれまで嘉永堰と呼ばれる堰も含め、「昭和堰」と名を改めました。昭和堰は、当時の水準としては優れた土木技術が用いられており、また、開削以来79年を経た嘉永堰を改良し、農業用水を新たに確保したという歴史を今に伝える貴重な史跡と言えます。</p>		・新しく追加

		<p>また、昭和7年に開削された昭和堰は、昭和初期の水田改良に伴う農業用水の需要増加を受け、嘉永堰の堰幅の拡幅および嘉永堰の水源である鍋割沢からさらに奥にある御秘蔵沢まで堰を延長したものです。</p>		
P76	⑥桶佐堀	<p>桶佐堀は、葉山の登山道(朝日軍道の一部)の標高800m付近に、勘三郎と妻おけさが掘った堰で、沢水を草岡まで引いて水不足を補ったといひます。草岡の赤地藏堂前の勘三郎碑によれば、寛文10年(1671)に開削されたことになっています。</p>		・新しく追加
P85	②文化財	<p>県指定「8」:有形文化財「7」 登録有形文化財「9」:登録数「9件27棟」 市指定「80」:史跡「15」 総計「100」:有形文化財「54」史跡「15」</p>	<p>県指定「7」:有形文化財「6」 登録有形文化財「8」:登録数「8件22棟」 市指定「79」:史跡「14」 総計「97」:有形文化財「52」史跡「14」</p>	・内容修正